

平成 28 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	2	基本目標名	安全で快適な暮らしやすいまち													
施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備													
主管課名	商工観光課															
関係課名	建設課、都市計画課、環境安全課															
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 ・市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。 ・駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 ・駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。 															
施策の成果向上 に向けての住民 と行政との役割 分担や地域等へ の期待など	市 ・ 民 ・ 所	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に鉄道やバスなど公共交通機関を利用します。 ・公共交通が利用しやすくなるための意見や提案を積極的に行います。 														
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性の向上について、関係機関等に働きかけ等を行います。 ・魚津市民バス、地鉄バス市内路線について、路線の整備、利用のPRを図ります。 ・公共交通に関する各種団体及び機関からなる公共交通活性化会議を行います。 														
	そ の 他 (地 域)															
市民意識 調査結果	<施策実感度調査結果>※26年度までは「満足度」 <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.092</td> <td>0.131</td> <td>0.169</td> <td>0.094</td> <td>0.143</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.092	0.131	0.169	0.094	0.143	
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度											
0.092	0.131	0.169	0.094	0.143												
<施策重要度調査結果> <table border="1"> <tr> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> </tr> <tr> <td>0.665</td> <td>0.739</td> <td>0.656</td> <td>0.949</td> <td>0.960</td> </tr> </table>					24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	0.665	0.739	0.656	0.949	0.960		
24年度	25年度	26年度	27年度	28年度												
0.665	0.739	0.656	0.949	0.960												
施策の トータルコスト	区 分	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績								
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	5 (4)	5 (5)	4 (4)	5 (5)	4 (4)								
	うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)								
	うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)								
	うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	1 (1)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	2 (2)								
	うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—													
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）	千円	—	347,708	169,802	90,511	102,929	135,774								
	うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	39,684	33,889	13,542	32,403	40,925								
	うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	123,852	88,781	76,821	68,928	69,105								
	うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	184,172	47,132	148	1,598	25,744								
	うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—													
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	11	13	10	12	9									
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	4,200	4,400	3,100	4,660	5,600									
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	—	18,476	18,454	13,584	19,483	23,022									
F. トータルコスト（B+E）	千円	—	366,184	188,256	104,095	122,412	158,796									
効率性 指 標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費（定義式：B/人口）	円	—	7,846	3,856	2,078	2,385	3,179								
	同 上 H. 人件費（定義式：E/人口）	円	—	417	419	312	452	539								
	同 上 I. トータルコスト（定義式：F/人口）	円	—	8,263	4,275	2,390	2,837	3,718								
	参 考	1時間あたりの平均人件費	円	—	4,399	4,194	4,382	4,181	4,111							
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	44,315	44,036	43,555	43,152	42,706								

基本事業概要シート①

施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名①	公共交通ネットワークの充実		
基本事業①の目的(意図)	誰もが利用しやすい公共交通が整っています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【公共交通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒部宇奈月温泉駅と魚津市内を結ぶ「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」（魚津タクシー協会運行）の運行に対する支援を行うとともに、タクシー協会及び市内宿泊施設とともに持続可能な運行費用負担の枠組みを構築しました。 ・富山地方鉄道の安全輸送、利用促進のための西魚津駅～宇奈月温泉駅間の増便やアテンダントの配置等を行うため、県・沿線自治体で支援しました。 ・あいの風とやま鉄道の経営安定基金(県設立)へ県・県内自治体・民間とともに拠出しました。 ・在来線等対策連絡協議会において市民号の運行(2回)や講演会(1回)を開催し、鉄道・バス等の利用にかかる市民の方々等の意識啓発に努めました。 ・富山地方鉄道の市内路線バスの市民バス並料金化と夕方の増便を行うための支援を国とともに行いました。 ・県、黒部市、地鉄と協議を行い、アルペンライナーの魚津IC停車を実現するとともに、停車に伴う費用負担を行いました。 ・将来における市内交通網のあり方等を関係機関等と検討し、地域公共交通網形成計画を策定しました。 ・民間事業者と協働で、魚津駅構内の「ミラマルシェ」及び「魚源商店」の利用促進イベントを毎月実施し、駅への誘客に努めました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市内公共交通利用者数	人	3,170,563	3,113,029	2,773,297	2,740,000 2,742,266	2,710,000	2,690,000	2,660,000	2,630,000
市内公共交通運行便数(平日)(便/日)	本	293	301	304	301 311	299	297	294	292

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 公共交通対策事業	42,143,919	40,925,283	1,218,636	B	商工観光課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			42,143,919	40,925,283	1,218,636		

基本事業概要シート②

施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名②	市民バス体系の強化		
基本事業②の目的(意図)	市民バスは、安全・安心な運行で、多くの人に利用されています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津市民バス運行事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステム維持・管理及びバス位置情報ディスプレイシステムを魚津駅構内(ミラマルシェ)に設置し、運用しました。 ・市民バスの利用促進イベントとして「市内まちなか巡り」、「市民バス15周年無料デイ」や「ポケモンGO バスでGO!」を実施しました。 ・市街地巡回ルートの夕方1便の継続的な増便運行(帰宅時等の通勤・通学者対策)を実施しました。 ・郊外ルート of 安全運行管理体制の強化等のため、交通事業者への委託を行いました。併せて、運転手不足に対応するため、交通事業者や各地域の利用促進協議会とともに、各地域を通じた情報提供方法の構築を行いました。 ・「魚津市民バス等利用促進協議会」を年4回開催し、各地域の利用促進活動について情報共有を図るとともに、要望の地区間調整を行いながら、平成29年度のダイヤ編成を行いました。 ・片貝コミュニティバスを平成28年4月1日より市民バスに移行し、スクールバス運行の合間の時間帯に、これまで運行本数の少なかった加積、本江地区等へ運行しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市民バスの利用者数	人	180,020	175,324	158,327	156,000 143,409	154,000	153,000	151,000	150,000

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 魚津市民バス運行事業	76,149,527	69,104,562	7,044,965	B	商工観光課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			76,149,527	69,104,562	7,044,965		

基本事業概要シート③

施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備
基本事業名③	在来線の利便性向上		
基本事業③の目的(意図)	駅が整備され、乗り換えが便利になっています。 駅を中心としたまちづくりで、地域が活性化しています。		
平成28年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備のための基本構想に基づき、富山地方鉄道、あいの風とやま鉄道、国、富山県等関係機関と、概算費用の積算や連絡運輸の方法について、協議を行いました。 ・将来における市内交通網のあり方等を関係機関等と検討し、地域公共交通網形成計画を策定しました。 ・魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備の計画内容について、市民や各種団体と13回意見交換会を実施して意見のとりまとめを行いました。 ・意見交換会等の結果を踏まえ、現計画に拘ることなく、市民により理解の得られる内容とするため、協議会の組織化に向けて取り組みました。 <p>【在来線を活用した誘客支援事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬の宿泊者数の減少と鉄道の利用促進を目的に、市内6宿泊施設と協働で「電車で魚津へGO!」を平成28年11月から平成29年3月まで実施し、片道分(上限有)の電車賃をキャッシュバックしました。 <p>【公共交通対策事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在来線等対策連絡協議会において市民号の運行(2回)や講演会(1回)を開催し、鉄道・バス等の利用にかかる市民の方々等の意識啓発に努めました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度 (中間目標年度)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
市内富山地方鉄道駅利用者数	人	1,163,000	1,198,000	1,222,000	1,200,000 1,217,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000
あいの風とやま鉄道・魚津駅利用者数	人	—	—	1,387,730	1,366,000 1,372,400	1,352,000	1,345,000	1,331,000	1,317,000

基本事業③を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業 -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	平成28年度			1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	◎ 魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業	36,737,300	25,743,960	10,993,340	B	商工観光課
2	予算なし	○ 魚津駅・新魚津駅周辺整備事業	0	0	0	B	都市計画課
3	一般会計	○ 在来線を活用した魚津への誘客支援事業(施策②再掲)	(2,023,254)	(263,420)	(1,759,834)	A	商工観光課
4	一般会計	◎ 公共交通対策事業(施策19①再掲)	(42,143,919)	(40,925,283)	(1,218,636)	B	商工観光課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			36,737,300	25,743,960	10,993,340		

施策評価結果シート

施策No.	19	施策名	総合交通体系の整備
-------	----	-----	-----------

平成28年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	<p>1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)</p> <p>【①公共交通ネットワークの構築】 ◆魚津市民バスの運営については、健全度を示す収支率は県内のコミバスの中で突出して高いものの、平成25年度をピークに減少に転じ、平成28年度も前年度比減少となりました。一方、鉄道については、地鉄線は、積極的な増便が功を奏し、黒部宇奈月温泉駅の利用者が減少する中で、市内4駅の利用者はほぼ横ばいとなりました。また、あいの風線は、平成27年度に特急列車の廃止等に伴い利用者が減少したものの、平成28年度はほぼ横ばいとなりました。高速バスの利用については、引き続き新潟便が好調に推移したものの、東京便は需要が回復せずほぼ横ばいとなったほか、長野便が廃止となったことから、全体として減少しました。 ◆「予約式乗合タクシー(おもてなし魚津直行便)」「(魚津タクシー協会運行)の運行については、タクシー協会及び市内宿泊施設とともに持続可能な運行費用負担の枠組みを構築しました。また、利用促進の取り組みが奏功し、黒部宇奈月温泉駅の利用者が減少する中で、おもたく利用者は前年比約22%増となりました。</p> <p>【②市民バス体系の強化】 ◆魚津市民バスについては、市街地巡回ルート及び郊外型ルートが運行され、平成25年度まで利用者は年々増加傾向にあったものの、平成26年6月の料金改定と、利用が期待される層の免許保有率の上昇に伴い、平成26年度以降は利用者は減少しています。また、近隣の市町とは置かれている状況が異なるため、一概に比較はできませんが、人口に対する路線数や運行頻度は他市町よりも利便性が比較的高く、かつコストも高くない水準で運営しています。 ◆市民バスにおいては、交通空白地域を解消するための取組みを沿線地域とともに進めており、その結果、バスによる運行が可能な地域では、交通空白地域は概ね解消されていると考えております。地鉄バス料金の市民バス並料金化も考慮すると、全市的に均一料金での運行がなされ、利用者アンケートでも概ね評価を得ています。 ◆平成28年度は片貝ルートを新たに運行し、比較的運行頻度が低かった地域へサービスの提供を開始しました。</p> <p>【③在来線の利便性向上】 ◆魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備のための基本構想に基づき、富山地方鉄道、あいの風とやま鉄道、国、富山県等関係機関と、概算費用の積算や連絡運輸の方法について、数十回協議を行いました。一方で、概算費用や計画内容について、議会などから費用対効果などについて、疑問の声が上がりました。そこで、魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備の計画内容について、市民や各種団体と13回意見交換会を実施して意見のとりまとめを行いました。意見交換会等の結果を踏まえ、計画を市民により理解の得られる内容とするため、協議会の組織化に向けて取り組みました。</p>
	<p>2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成28年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)</p> <p>【①公共交通ネットワークの構築】 ＜公共交通対策事業＞ ◆地域のバス利用促進協議会とともに、各ルートの魚津駅等での電車と魚津市民バス等の接続へ配慮したダイヤづくりを行ったほか、市民バス時刻表への地鉄バス・電車等の時刻の掲載を行うことにより、平成27年度よりも利便性の高いダイヤ・ルートの提供ができました。 ◆鉄道を利用しやすい環境づくりのための増便等やサービス改善について鉄道事業者へ要望したことにより、平成29年3月のダイヤ改正であいの風線の2便増便と、JRきっぷをクレジットカードで購入できる環境が整いました。また、公共交通全体の利用促進のお啓発活動についても、講演会を開催したところ、市内外から約130人の聴講がありました。 ◆魚津市公共交通活性化会議等を運営し、市民、関係者、関連事業者等との協議の中から、市民バスのあり方、地鉄バスの市民バス並料金化による運行、魚津駅等の整備等、魚津市が目指す鉄道・バス等公共交通のあり方を検討し、検討結果を実際の運行や施策に反映しました。 ◆地鉄線については、老朽化した枕木の交換や、西魚津～宇奈月温泉間の増便などについて、県や沿線市町とともに支援することで、運行の安全性や利便性が向上しました。</p> <p>【②市民バス体系の強化】 ＜魚津市民バス事業＞ ◆片貝地区内にて、清流小のスクールバス利用の合間に市民バス片貝ルートを平成28年度から新たに運行し、比較的運行頻度が低かった地域へサービスの提供ができるようになりました。 ◆市街地巡回ルートの夕方の増便実験、地鉄バス料金の市民バス並み料金化、利用促進イベント、ニーズ調査の実施など、費用対効果も見極めながら、できる限り利用者のニーズを踏まえた運行を行っていますが、人口減や免許を保有する高齢者増など構造的な要因もあり、平成26年度からは利用数が減少傾向にあります。この傾向に歯止めをかけるべく、各地域の「魚津市民バス等利用促進協議会」とともに、地域にあった利用促進活動を展開しています。この結果、地鉄バス黒沢線では、前年比約3%増となりました。</p> <p>【③在来線の利便性向上】 ＜魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業＞ ◆魚津駅・新魚津駅の駅舎と周辺整備の計画内容について、市民や各種団体と13回意見交換会を実施して意見のとりまとめを行いました。意見交換会等の結果を踏まえ、計画を市民により理解の得られる内容とするため、協議会の組織化に向けて取り組みました。 ＜公共交通対策事業(再掲)＞ ◆地鉄西魚津駅～宇奈月温泉駅間の11便増便も行っていただくほか、黒部宇奈月温泉駅と魚津駅周辺を結ぶ予約式乗合タクシー「おもてなし魚津直行便」の運行も実施し、来訪者・市民の利便性の確保を行っています。 ◆在来線を活用した誘客支援事業 ◆冬の宿泊者数の減少対策と鉄道の利用促進を目的に、市内6宿泊施設と協働で「電車で魚津へGO！」を平成28年11月から平成29年3月まで実施し、片道分(上限有)の電車賃をキャッシュバックしたところ、この制度で約300人の利用がありました。</p>
	<p>3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)</p> <p>【①公共交通ネットワークの構築】 ◆魚津市公共交通活性化会議等の運営や、様々な会合等の機会をとりえて、市民、関係者、関連事業者等と意思疎通をしっかりと行い、魚津市が目指す鉄道・バス等公共交通のあり方を引き続き検討します。 ◆引き続き安全・安心で利用できる鉄道環境の整備及び魅力・快適性アップのための各種対策等への支援を行うことにより、利用者数の維持・増加を図ります。</p> <p>【②市民バス体系の強化】 ◆利用者の減少については、人口減や免許を保有する高齢者増など構造的な要因が大きいです。通勤通学にも利用される路線はあまり減少しておらず、買い物・通院といった日中～夕方の時間帯に利用する主に年配のお客様が大幅に減少していると考えています。主な利用促進のターゲットを中高年の方々、若年層、子育て世代に定め、ターゲットごとに楽しく乗車できる機会作りを行うとともに、実施にあたっては各地域での利用促進活動と連携して取り組みます。</p> <p>【③在来線の利便性向上】 ◆市内における交通結節点において、引き続き市民、事業者とともに電車・バス・レンタサイクル等公共交通の利用促進の取り組みを行います。 ◆魚津駅・新魚津駅及び周辺のまちづくりに向けて、協議会を組織し、議論を開始します。 ◆あいの風とやま鉄道等の利便性向上や駅機能強化のための要望活動を引き続き実施します。 ◆冬期間の誘客支援については、早めに期間を定めて周知を行います。</p>

<p>部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆人口減少や利用者の構造変化などが今後も続くことが予想される中で、鉄道・バスの運営にあたっては、安全性重視は当然のことながら、将来も持続可能な運行を行うために、効率性だけにこだわることなく、新しい利用につながる効果的な事業を実施すること。 ◆魚津駅・新魚津駅周辺整備については、これまでの計画や事業の進め方にこだわらず、まずは「まちづくり協議会」の中で役割や機能を明確にすること。 ◆各種協議会や団体、交通事業者等と連携し、公共交通機関の利用促進とともに「まち歩き」の機会を創造し、駅など「まち」のにぎわいづくりに努めること。
<p>施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆各地域市民バス等利用促進協議会、交通事業者等との連携により、公共交通の利用促進を図り、「まち」の賑わいを創出します。 ◆鉄道、バス等公共交通の利用環境を改善し、市民バスを含めた効率的・効果的で持続可能な運行体系を構築します。 ◆鉄道の魅力・快適性の向上に関する各種対策等への支援を行い、利用者数の増加に取り組みます。